

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	2年生	期 別	通年	科目の実務経歴	無
授業科目名	病理学概論			担当教員	豊田 正治		
授業の方法	講 義			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	あはき臨床を行う上で必要な病態生理学に関する基礎知識として、疾病の原因、成り立ち、経過、転帰に対する形態的および機能的変化について学ぶ。						
授業の到達目標	II. 医学的知識 2. 疾病の成り立ちと構造・機能の異常 3. 人体に影響を及ぼす諸因子(物理的、化学的、生物的)						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第1章：病理学とは 第2章：疾病についての基本的な考え方①		1	第6章：進行性変性 1. 肥大と増殖 ① 2. 再生		
	2	第2章：疾病についての基本的な考え方② 第3章 病因／内因 ①		2	第6章：進行性変性 1. 肥大と増殖 ② 2. 再生		
	3	第3章 内因 ②／外因 ①		3	第6章：進行性変性 3. 化生 4. 移植		
	4	第3章 外因 ②		4	第6章：進行性変性 5. 創傷治癒 第8章：腫瘍 1. 腫瘍の一般		
	5	第3章 外因 ③／小児疾患 第4章：循環障害 1. ヒトの循環系		5	第8章：腫瘍 1. 腫瘍の一般		
	6	第4章：循環障害 2. 充血・うっ血 3. 貧血・虚血		6	第8章：腫瘍 1. 腫瘍の一般		
	7	第4章：循環障害 4. 出血 5. 血栓症 6. 塞栓症		7	第8章：腫瘍 2. 良性腫瘍、3. 悪性腫瘍		
	8	第4章：循環障害 7. 梗塞 8. 水腫・浮腫・脱水症		8	第8章：腫瘍 3. 悪性腫瘍		
	9	第4章：循環障害 9. ショック 第5章：退行性変性 1. 萎縮①		9	第8章：腫瘍 第9章 免疫異常・アレルギー 1. 液性免疫と細胞性免疫		
	10	第5章：退行性変性 1. 萎縮② 2. 変性		10	第9章：免疫異常・アレルギー 2. アレルギー ①		
	11	第5章：退行性変性 2. 変性		11	第9章：免疫異常・アレルギー 2. アレルギー ②		
	12	第5章：退行性変性 2. 変性		12	第9章：免疫異常・アレルギー 3. 免疫不全、 4. 自己免疫疾患		
	13	第5章：退行性変性 2. 変性 第7章：炎症 1. 炎症の一般		13	第9章：免疫異常・アレルギー 4. 自己免疫疾患 第10章：先天異常 1. 先天性異常総論、2. 遺伝性疾患		
	14	第7章：炎症 2. 炎症の分類		14	第10章：先天異常 1. 先天性異常総論、2. 遺伝性疾患		
15	第7章：炎症 2. 炎症の分類		15	第10章：先天異常 代謝異常と染色体異常			
評価基準	評価：90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	小テスト30%、期末テスト70%の割合で評価します。			実務経歴	臨床歴 2年 教員歴 1年目		
履修上の注意	授業・テストの内容をよく復習すること。			授業時間外の学習	解剖学・生理学の復習を行うこと。 授業冒頭に前回の復習プリントを配布します。		
使用教材	・東洋療法学校協会「病理学概論」 ・必要に応じて資料を配布します。			連絡先	できるだけ事務課をとおして、直接声をかけて下さい。 □		